



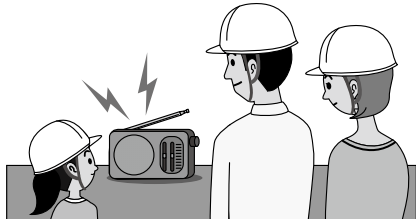
澤田 裕之 議員(倉生会)
佐野市の防災対策について



Q 防災ラジオの整備は、ラジオ局との連携や運用等の費用が発生するものだが、一方で災害時においては、寝ている間でも自動で電源が入り、緊急放送が受信することができる。高齢者等で携帯電話等の情報端末を所有していない情報弱者に対して、防災ラジオは非常に重要な情報伝達手段だと思うが、他の情報伝達手段との比較において、防災ラジオの導入検討について伺いたい。

A 行政経営部長

防災ラジオについては、有事の際には情報発信の有効な手段の一つであると考えています。ラジオ局との連携や運用に関する費用など、導入に向けた課題も多くありますので、現在の情報発信方法と比較、検討しながら研究していきたいと考えています。



神宮次秀樹 議員(政友みらい)
避難所の見直し及び今後の対策について



Q 市内に指定避難所が58か所ある。コロナ禍以降、収容人数の変更、新たな場所の選定が必要と思われるが、どのように考えるか。

A 行政経営部長

避難所の収容人数については、現在の半数程度に減少するものと想定しています。そのため、避難者数が収容人数を超える可能性があるかと判断した場合は、災害協定を締結している施設等への誘導を考えています。

また、平時よりご自宅の危険性を把握し、ご自宅で安全が確保できるのであれば、2階以上への垂直避難などを考えていただき、また友人や親戚などの安全なお宅があれば、早めに避難していただくなど、分散避難も周知しているところです。

その他の質問
☆耕作放棄地への対応について



早川 貴光 議員
新型コロナワクチン予約及び接種体制について



Q 集団接種会場における、コールセンターとインターネットでの予約受付件数を公表することで、予約受付の混雑緩和につながると考えるが、当局の見解を伺いたい。

A 健康医療部長

現在、新型コロナウイルスワクチン接種インターネットシステム上で、集団接種会場の予約受付状況の表示は、予約可能な場合にはマル、定員に達した場合はバツで表示しています。この情報は、市のホームページに1日1回更新しています。そのため、実際に予約する際には、ホームページの情報との誤差が生じてしまいます。議員のおっしゃるように、予約状況の見える化を行うことは、予約受付の混雑緩和につながりますので、今後改善していきたいと考えています。

その他の質問
☆有害ごみに変更となったスプレー缶の処理について

